

新宮山産ぐるーぷ第2238回

行仙宿巡回整備

◇実施日 5月28日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、生熊敏男・千万子、畑林清子、大江加予子・徳子、西克、湯川一郎、梶野照雄、瀧本昭太郎、由井洋三、小西陽子、栗原真行 14名

5月最後の行事は行仙宿の巡回整備となった。天気予報は明日29日から雨が降り出す予想だが、28日は好天で5月らしい気温だった。午前9時過ぎに登山口に集合。モノレールに荷物を積んで生熊さんが運転し終点に向かう。10名は歩いて登る。



ホースを固定



岩を削る



間伐材の引き上げ

水場から林道まで伸びているホースが先日抜け落ちていたので、ホースバンドを付けて抜けないようにする。モノレール終点まで登ると栗原さんが待ち構えていた。白谷トンネル西口から登って、行仙宿経由で降りてきたらしい。相変わらずのTシャツ、短パン姿だ。児嶋さんは補給路の補修個所で飛び出した岩をディスクグラインダーで切り取っていた。岩が硬く時間が掛るので帰りにも作業するそう。湯川君は先に下山した。行仙宿に着き、昼食までの間にお堂の清掃や小屋、管理棟の整理を行う。先日持ち降ろして選択した毛布を入れ替えた。



本日の参加者

再度距離測定

毛布を降ろす

昼食後、行仙岳北側まで杭を運ぶ。梶野、西、栗原、由井の4名で捲き道下方の放置された間伐材を捲き道まで引き上げる。長いものは3m程度に切った。4〜5本を引き上げたところで杭運び班が戻ってきて、引き上げた間伐材を行仙岳北側まで運んだ。5月3日に集めておいた丸太も全部運び上げてくれたそう。

午後2時半前に行仙宿に戻り下山準備をしていると、児嶋さんが岩を削るため先行下山したので、残りの14名で写真を撮って下山。新たに洗濯する毛布を20枚持ち降ろした。

途中でモノレール延伸予定ルート短縮のため距離を測り直した。

栗原さんの二輪車が白谷トンネル西口に停まっているので沖崎さんがトンネル西口まで送っていった。
(記：梶野)

行動タイム

09：28 補給路登山口↓10：30 行仙宿 112：40→13：03 捲き道分岐

13：55→14：25 行仙宿 14：40→15：22 補給路登山口